

卒業したくなくなる!? いまどき 自動車教習所



免許は居心地のいい所で

時に気むずかしそうな教官に指導を受けるというイメージは遠く昔。自動車教習所が、なにやら居心地のいい場所になっています。少子化に加え、若者の車離れで厳しい市場で、利用者に響くサービスって何なの？ 現場で聞いてきました。

飲食がすべてタダ

昨年暮れのこと。友人から聞いた話です。

大阪北部のベッドタウン・阪急池田駅前受取ったティッシュに「食べ放題！飲み放題！」の目立つ文字があったそうです。広告は居酒屋でもカラオケでもなくて「箕面自動車教習所」のもの。なぜ教習所で、と調べると、ホームページに「お食事だけのご利用も可能です！」。しかも「全て無料」。ほんまに？

お昼時に訪ねました。施設は住宅街にあって、カーブやクランクが設けられたコースを、教習車がゆるゆると走っています。見覚えのある光景です。建物2階の休憩スペースでは、カウンターに生徒たちの列ができていました。

スパゲティ、ピラフ、トーストサンド——。メニューは学食のカフェやドライブインのようで、ドリンクには大阪の定番・ミックス

ジュースも。これらが「食べ放題・飲み放題」。太っ腹です。

大阪大3年生の高橋建気さん(22)は「下宿生にはとてもありがたい。1日で何度か食べることもあります」。春から歯科大に通う伊藤公敬さん(20)は、「待ち時間にちょうどいい」。

このサービスは、梶山四郎社長(71)が、「地域の若い人に何がうけるか」を考え抜いた結果です。施設は近隣から生徒を集める通所型で、大阪大学に近いことから、一人暮らしの学生が多い。「食」に着目し、2009年の秋から始めました。

いまでは先輩からの申し送りで代々、教習所はココという大学サークルもあるそうです。あえてゆっくり免許を取ろうとする猛者もいるそうで。「閑散期が減り、大成功です」と梶山社長。

合宿にイベント感

教習生の獲得がどれだけ大変かということ、全日本指定自動車教習所協会連合会(東京都)によれば、16年に教習所を卒業したのは全国で約153万人、ピーク時の1990年の6割になっています。一方、指定教習所の数は全国に1280校(16年)と、ピーク時の91年が1477校なので1割減程度。従業員

のためにも値引き競争は避けたい。そんな事情がうかがえます。

遠隔地からも生徒を集めたい「合宿免許」の場合はどうでしょう。熊本県菊池市の城北自動車学校では、「ケーキバイキング」作戦を展開していました。

春の繁忙期に入った1月下旬の昼下がり。教習所の敷地内にあるレストランに、スイーツがズラリ。イチゴタルト、シュークリーム、コーヒゼリー——。チョコレートフォンデュもあって、まるでホテル気分。

森千紘さん(20)は、北九州市からの合宿生。ネットで調べるなか「バイキング」の文字に心躍ったといいます。この日はランチを抜いて、楽しみました。

総務課長の長尾武さん(41)によると、単調になりがちな合宿生活にイベントを、とバイキングを始めたのは数年前で、月2回で定着しました。「教習所にリピーターはいない。口コミで魅力を伝えてもらうことが経営的にも大切です」と話していました。

取材前は、何もそこまで、と思ってましたが、パンチの効いたサービスが必要だと納得しました。

(大阪生活文化部・北村有樹子)



←withnewsで
もっと詳しく